

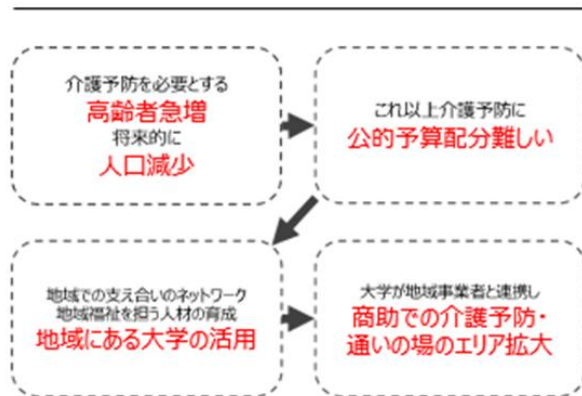
運動器スクリーニングによる自立型ロコモ対策事業

参加団体：アルケア株式会社、株式会社杏林堂薬局、杉山整形外科医院

1. 背景と本事業における各事業者の機能と課題

- 磐田市の高齢化率は全国平均並みの27.8%であり、更なる健康維持に向けた取り組みが必要とされている。また、健康増進を促進する社会環境の整備として、健康づくりのために地域のつながりの必要性を感じている。
- 現状の社会保障体制を維持するためには、社会全体が相互に支え合いながら健康を守るための環境を整備することが必要であり、行政・地域が企業、民間団体等と積極的に連携し、予防的・持続的に取り組むことのできる体制づくりが急務となっている。

磐田市の抱える課題
(人口17万人 高齢化率27.8%)



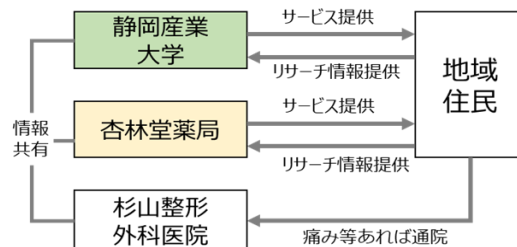
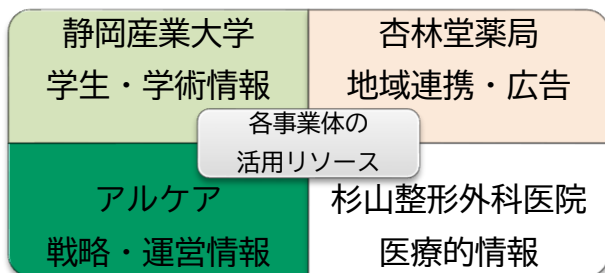
<各事業者の機能と課題>

	事業者	機能	課題
産	杏林堂薬局	ドラッグストア・小売り	就労人材の確保
			ロイヤルカスタマーへのグリップ 社内人材の有効活用
産	アルケア	企画・運営サポート	産学連携ノウハウの展開
			測定・教室の事業サポート コンテンツ実証フィールドの拡大
学	静岡産業大学	運動監修・運営	測定会・運動教室の運営と収益化
			学生の実学経験・社会適応 運動を学んだ人材の社会実装
医	杉山整形外科医院	診療・ ホームエクササイズ サポート	地域との連携
			ホームエクササイズの実践サポート 個別の疾病に対する運動制限の理解

2. 本事業における目的と実施体制

- 各事業体における既存の資源を活用した実施体制を構築し、新たな公的保険外サービス対象者の市場調査と各サービスのビジネスとして成立する利用者負担（既存のシミュレーションによる想定価格）に見合うコンテンツの提供可能性を検証した。

<各事業者の資源と実施体制>



※企画・運営サポート：アルケア

- 市場調査
- コンテンツ提供可能性の検証



実証内容

運動器スクリーニングによる自立型ロコモ対策事業

3. 検証事項と実施事業概要

- 検証事項①として、運動器スクリーニング（運動器機能評価測定会）を実施し、地域住民の運動器の課題の実態把握ならびに、運動器機能評価のニーズ把握を実施した。
- 検証事項②として、運動教室を実施し、地域ニーズの把握ならびに、教室事業実施コストとの比較検証を実施した。

<検証事項①：運動スクリーニングの実施概要>



<検証事項②：運動教室の実施概要>



4. 事業スケジュール

- 運動器スクリーニング（場所：静岡産業大学磐田キャンパス内/杏林堂薬局上岡田店等、対象者：概ね40歳以上の磐田市地域住民）
- 運動教室（場所：静岡産業大学磐田キャンパス内、対象者：概ね40歳以上のロコモ度に該当した磐田市の地域住民）





結果

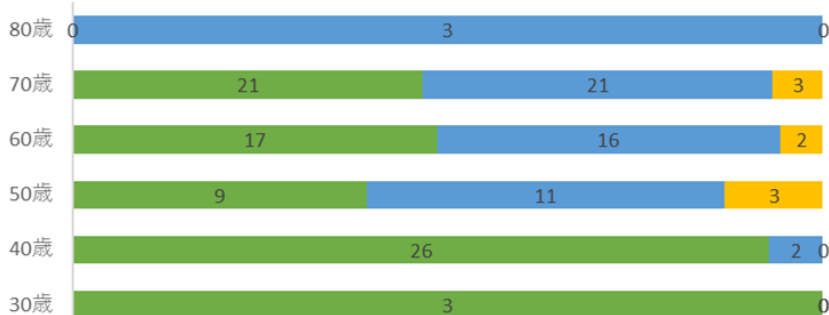
運動器スクリーニングによる自立型ロコモ対策事業

5. 検証事項①：運動器スクリーニング

- 地域住民のロコモ度該当割合は、50歳代から増加しており、加齢の影響が大きいことが示唆される。
- ロコモ評価や予防に対するニーズは、測定後の説明や自身の下肢の状態への気づきが得られたことで高くなったと考えられる。費用感としては、500円であれば、参加しても良いという回答が最も多かった。

<年代別のロコモ度該当者の割合> 測定者数：135名

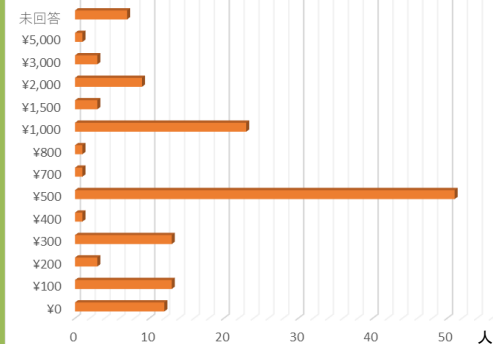
■ロコモ非該当 ■ロコモ度1 ■ロコモ度2



<ロコモ測定後の関心度と費用感> 測定者数：141名

質問. ロコモ測定を行って、ロコモ予防を行う気持ちになりましたか？

選択項目	回答者数
1) はい	136
2) いいえ	5



6. 検証事項②：運動教室

- ロコモ予防教室への参加希望調査では、141名中、116名（82%）が「参加希望」であり、一定のニーズがあることが示唆された。
- 運動教室参加者の健康増進効果は、運動器機能の向上および質問紙でのポイントの改善が見られ、一名がロコモ非該当となった。
- 教室事業運営のために、月額2,000円程度の参加費が得られれば、実現可能であることが示唆された。

<ロコモ度テスト結果> 測定者数：9名

	立ち上がりテスト		2ステップテスト (cm/cm)			ロコモ25			ロコモ度	
	初回	最終回	初回	最終回	変化量	初回	最終回	変化量	初回	最終回
A	10両	40片	1.51	1.44	-0.07	3	1	-2	1	0
B	40片	40片	1.62	1.59	-0.03	12	9	-3	1	1
C	10両	10両	1.30	1.29	-0.01	6	4	-2	1	1
D	30両	20両	0.86	1.01	0.15	47	34	-13	2	2
E	10両	10両	1.52	1.32	-0.21	1	0	-1	1	1
F	20両	10両	1.47	1.34	-0.12	8	7	-1	1	1
G	20両	20両	1.60	1.50	-0.10	4	3	-1	1	1
H	10両	10両	1.46	1.53	0.07	9	3	-6	1	1
I	20両		1.30			3	1	-2	1	-

※改善のあった数値については表に[例]のように色付け

<運動教室事業の実施コスト検証と比較>





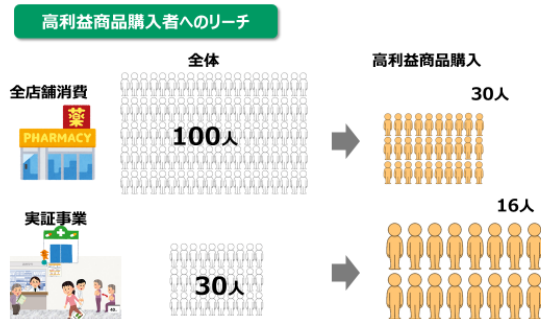
検証と今後の展開

運動器スクリーニングによる自立型ロコモ対策事業

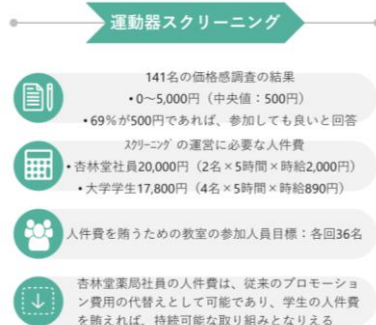
7. 本事業におけるビジネスモデルの適応について

- 従来の杏林堂薬局における活動では、高利益品購入者の抽出率は30%であったが、今回の測定事業では、53%であり、高利益商品購入者をスキミングできる可能性が示唆された。
- 運動器スクリーニング 成立の条件を満たせば、追加投資なしで、さらに1800人程度の高利益品購入者が抽出可能になると考えられる。

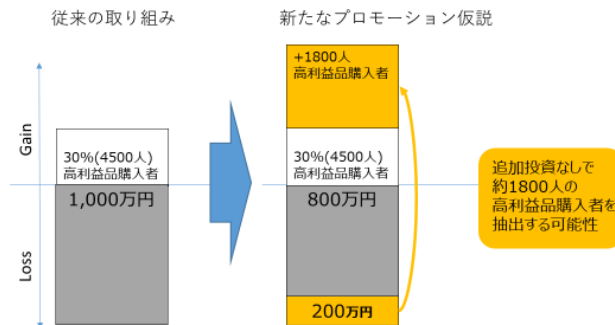
<高利益品購入者へのリーチ>



<運動器スクリーニング 成立の条件>



<ビジネスモデルの適応例>



8. 今後の展開

- 今回の事業では、産学医連携によるそれぞれのリソースを活かした地域住民に対するヘルスケアビジネスモデルを構築し、実現可能性を示した。
- 今後の事業発展のための課題として、人的リソースの供給と育成など持続可能な体制の構築と広域展開による更なる情報リソースの獲得が必要であることが明らかになった。

